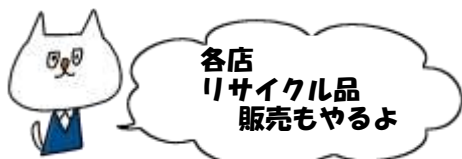


# 文京のがくどうほいく

## バザー実行委員会

8月24日(木)に第1回バザー実行委員会を開催し、準備内容(届出や挨拶)の確認、役割分担を行いました。連絡方法はサイボウズを活用しており、9月中旬には育成室の出店内容が決定しました。



出店内容	販売・食品	ゲーム
千石第一第二	ミサंगाとミサंगा作成キット販売 パンチバルーン	
向丘	綿あめ	サイコロゲーム
茗台	駄菓子	ペットボトル立て ボール入れ
柳町第二	ポップコーン	チョコQゲーム
白山東	フランクフルト フライドポテト チャーハン・から揚げ 串カツ	コリントゲーム
OB 父母	焼きそば たこ焼き	射的ゲーム

ゲームは  
50円～  
100円  
だよ



◎たのしいゲームコーナーがたくさんあります。出店されない育成室の子どもたちもお客さんで、バザーを盛り上げて来てください！

※自転車で来られる方へ…駐輪場は柳町小学校校庭をお借りしています。当日は警備担当の案内に従って、小学校や近隣へ迷惑がかからないよう、ご協力をお願いします。

## ★区長面会★

8月23日(水)に成澤廣修区長と、久住教育推進部長、矢島児童青少年課長同席のもと役員5名で面会しました。まず区連協からは越野会長より増室を進めていただいていることへの御礼を述べ、各役員より、育成室で経験した文京区の育成室のすばらしさについてそれぞれのエピソードとともに、この育成室を大切にしたい願いを伝えました。

区長からは、「育成室はこれまでのあり方を維持していく考えであること、今の段階で放課後全児童向け事業との一体化は考えていない、そこは理念を持ってやっている」という言葉をいただきました。ただ、「この育成室がどうあるかということやはり適正な要望が大事」という言葉もあり、役員一同うなずくところでした。区長としてもまず、子どもにとってよい環境ということを考えており、担当課としても育成室の質の維持と量の拡大という課題に大変努力されているとのことでした。最後に下村役員より、「区としてこれまでやってきてくださったことを、誇りを持ってやりつづけていただきたい」とお伝えしました。30分ほどの時間でしたが、子ども中心の子育て支援への想いが語り合え、とても貴重な意見交換となりました。

## 「陳情書」

私たち文京区学童保育連絡協議会は、文京区が子どもたちのために育成室・児童館事業を充実・発展させ、かつ全国的にも高い水準の確保に引き続き努力されていることに心より感謝申し上げます。

年々文京区の小学生が増加の一途であり、育成室への需要がさらに増している状況下、本年度は汐見第二・誠之・湯島小の3室が増設されました。重ねて御礼申し上げます。

小学校低学年の子どもにとって放課後とは、遊びを通して自身の人間関係の広がりや生きる力を養う場でもあります。育成室ではその意味で子どもの育ちが保障されると同時に、信頼できる大人が介在することで（指導員の専門性によって）、子どもは守られている安心感を得ることができております。その両面において私たち保護者は、長期休暇期間を含め、子どもたちの生活が保障されることを願っております。

育成室に通う子どもは、放課後の時間に自宅に保護者がおりません。さまざまな思いを抱えて課業を終えたあとに受け止めてくれる、子どもにとって家庭に代わる場を、私たちは育成室に望んでおります。その「生活の場」たる育成室の環境を支えるには、安定した継続勤務ができる正規職員が存在、また適正な児童人数規模に基づく安定的な子ども同士、また指導員との関係性が非常に重要と実感しております。

一方で、アクティ事業の展開にともない、ともすれば子どもの居場所が小学校に集中しがちな状況も注目を要していると考えます。幼児も増加の一途である文京区においては、地域の小さな公園もはや遊びに適しているとはいえません。一般に学童期の子どもは自分の居場所の選択肢があり、自ら選択して、自発的に過ごすことで発達保障される面があります。子どもを取り巻く昨今の環境において、育成室を卒業した子どもにとっても（保護者が不在でも安心して過ごすことのできる場所の選択肢としても）、また地域の子どもの全体にとっても、児童館の役割はますます重要であると思っております。文京区において、児童館機能が学童期の子どもの居場所であり続けることを願っております。

また、育成室とアクティ事業はその役割を根本的に異なるものとし、それぞれにその役割を丁寧にかたちづくっていくことは今後も引き続きお願い申し上げます。同時に小学校内育成室ではその保育環境がこれまでのように安定し、子どもが落ち着ける居場所であるよう、行政・保護者ともに関心を寄せていくことが不可欠と思っております。

これまでの年月で行政・保護者・指導員が協同で作りあげてきた文京区の公営育成室はかけがえのないものであり、この育成室があればこそ、私たち保護者は安心して働き続けることができるものです。増室にあっても、保育の質と量のいずれにも配慮する文京区のお考えをありがたく受け止めております。今年度も引き続き、当連絡協議会より、子ども子育て会議へ委員が関わらせていただいております。この会議においても上記の保育環境が保障され、今後の計画策定がより良いものとなるよう、連絡協議会一丸となって注目し、また協力していく所存です。育成室の主たる利用年齢の6から8歳の人口は、5年前と比較して、約25%、1,089人増加しています。今年度集計された年齢別年少人口を見ても、今後も6から8歳の人口は増加傾向が継続されます。文京区の年少人口が増えるということは、「選ばれる文京区」の証左といえ、喜ばしいことです。その文京区の子どもたちがより良い放課後の生活を過ごすことができるよう、引き続きお力添えをお願いいたします。

現在正規複数職員体制で文京区の保育指針に基づいた学童保育の場を守りながらの増設が進められており、上記に述べました保護者の願いを反映していただいていると実感しております。将来を担う子どもたちの健全な成長のために、質の面でも量の面でも一層の整備を頂きたく、学童保育へさらなるご尽力を賜りますよう切に要望申し上げます。

各育成室父母会よりの要望についても添付いたしますが、2017年度の事業計画ならびに予算の策定において、これらを十分ご検討くださいますよう要望いたします。

以上

## ★要望書提出★

父母会の皆様、区への全体要望提出にご協力いただき、ありがとうございました。9月6日（水）に児童青少年課長と面談の場を持ち、要望書と陳情書を提出しています。

尚、父母会から寄せられた要望は、「全体に関わる要望」「個別要望」「質問事項」の項目に体裁を整えております。今回、「全体に関わる要望」の要点と「陳情書」を紹介いたします。区連協連絡用メーリングリストにて正式な書面は報告しています。詳細はそちらをご参照ください。

### 「全体に関わる要望」

- ① 育成室の増設と適正規模における保育の実現
- ② 小中学校内育成室の維持と新設への取り組み
- ③ 民営化育成室の保育の質を担保するための具体的対策
- ④ 新設・民営化育成室事業者へ父母会活動がのびやかに行われるように事業者の理解促進
- ⑤ 全児童対策事業（アクティ）が併設された学校内の保育状況の改善
- ⑥ 既存の育成室については民営化せず、公設公営を維持
- ⑦ 単年度審査にしないこと
- ⑧ 近隣保育園、小学校とのより良い連携、地域をつなぐ学童保育の存在で、子どもの生活に連続性と安心感を
- ⑨ 学童期の子どもの居場所として児童館の存続

### ★第2回運営委員会お知らせ★

日時：10月22日（日）10時～12時

場所：シビックセンター4階和室

議題がございましたら、総務メールアドレスまでご連絡をお願いします。議事次第と資料は、後日連絡用MLでお送りします。 [bunkyo.renkyo@gmail.com](mailto:bunkyo.renkyo@gmail.com)

※文京区連協HPのQRコードを作成しました。どうぞご活用ください。

